

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	感覚・知覚心理小委員会	主査名：光田 恵 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境心理生理運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：小島隆矢
設置期間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>前身の感覚・知覚心理小委員会の活動を踏まえ、本小委員会では温熱、光、音、空気など、異なる感覚・知覚心理生理を評価の対象とする研究者、実務家の協働により、居住空間の実用的な評価手法を探ることを目的とする。</p> <p>初年度：国内外における居住空間の環境評価に関する研究の動向把握</p> <p>2 年度以降：国内外における居住空間の環境評価に関する研究の動向把握</p> <p>評価尺度、評価者、音・光・熱・空気の各環境要素の個別の影響および複合影響等に関する資料整備、研究状況の総括と当該分野における展望の提示</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：光田 恵 (大同大学)</p> <p>幹事：佐藤逸人 (神戸大学)、萬羽郁子 (東京学芸大学)</p> <p>委員：山中俊夫 (大阪大学)、西名大作 (広島大学)、梅宮典子 (大阪公立大学)、土田義郎 (金沢工業大学)、澤島智明 (佐賀大学)、秋田 剛 (東京電機大学)、原田昌幸 (名古屋市立大学)、宮本征一 (摂南大学)、原 直也 (関西大学)、森原 崇 (石川高専)、合掌 顕 (岐阜大学)、竹村明久 (摂南大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>評価と統計解析手法検討 WG：小委員会の活動内容である国内外における居住空間の環境評価に関する研究動向の把握、および評価尺度、評価者、各環境要素の個別の影響と複合影響等に関する資料を整備する中で、環境要素の複合影響や多様な空間における評価の違い、統計解析手法の資料を持ち寄り、議論を行う。</p> <p>居住環境の評価法検討 WG：小委員会の活動内容である国内外における居住空間の環境評価に関する研究動向の把握、および評価尺度、評価者、各環境要素の個別の影響と複合影響等に関する資料を整備する中で、複合環境評価の規準作成のための資料収集、整備を行うことを目的とする。</p>	
2023 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚・知覚心理小委員会：3 回 (年度内計画を含む) ・評価と統計解析手法検討 WG：3 回 ・居住環境の評価法検討 WG：3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価尺度、評価者、音・光・熱・空気の各環境要素の個別の影響および複合影響等に関する情報交換を行った。 2. 複合評価研究の事例や知見について意見交換を行った。
委員会活動の問題点・課題	特になし